

小松崎 ふみよし

政策ジャーナル Journal



行動派宣言

Vol.125



HP



2344.Jp

KOMATSUZAKI
FUMIYOSHI
2022

みなさんの広い意見を募集しております。

-ごあいさつ- ウクライナ情勢の鎮静化が進まない事により平和・生活・経済の不安定化が継続しています。下記の通り千葉市物価対策等は一部行われましたが、関係国民の生存、人類幸福の為に一刻も早く、交戦停止が実現することを希求します。また先日千葉市出身のうすい正一さんが参議院議員に当選しました、千葉市の政策が国政に反映されることを期待しての支援に感謝申し上げます。

新型コロナ陽性者数は第7波を迎えた状況ですが、検査基準も国により違い、感染者数の発表は意味が薄いと考えます、必要とすれば病床使用率と下表の有症状者・重傷者数です。かつての「デルタ」のような凶悪なウィルスには、行動抑制が必要な場合も稀に有りますが、2段階(緊急・蔓防)の行動制限は改め、やはり社会活動を正常化し国民の社会・経済・健康の回復に努めるべきだと私は考えます。

■「感染症対応地方創生臨時交付金」活用し、市独自の原油価格・物価高騰対策 ■

(1) 市民生活に密接な対策

●下水道使用料等一部減免 (15億8,600万円)

幅広い世帯等を対象に、電気やガス料金等を含めた物価高騰による負担を軽減するため、下水道使用料等を減免します。

減免内容：1世帯あたり最大3,200円

(R4.10月～R5.1月検針分の4か月分)

*農業集落排水使用料、し尿汲み取り手数料も同額程度を減免。

●学校給食費等高騰分の減免 (2億5,400万円)

公立小中学校や保育所、幼稚園等を対象に、食材料費の高騰分の負担が保護者の皆様に転嫁されないよう、市が負担します。

市の負担：1食あたり14～21円

(R4.7月～R5.3月の9か月間)

●燃料費高騰での値上げを抑制 (2億100万円)

公共交通事業者や一般公衆浴場(スーパー銭湯等を除く)を対象に、燃料費高騰分を支援します。

1台あたり：バス18万円、タクシー5万円等

公衆浴場：ガス・重油1施設60万円等

(2) 市内事業者への対策

●中小企業者を支援！ (6億7,000万円)

原材料費等コスト増の影響を受ける中小企業者の皆様を対象に、支援金を支給します。

(R4.4月～R4.8月の期間で前年比合計10万円以上)

支援金：1者あたり5～15万円

*コロナ等の感染症に対応した事業継続計画(BCP)を策定等した場合は別途10万円を加算

●緊急融資枠で経営安定化 (28億6,000万円)

市内に本社のある企業等を対象に、100億円の緊急融資枠を設けると共に、融資利用者に対して、物価高騰分の一部を支援します。

融資限度額：1者あたり5,000万円

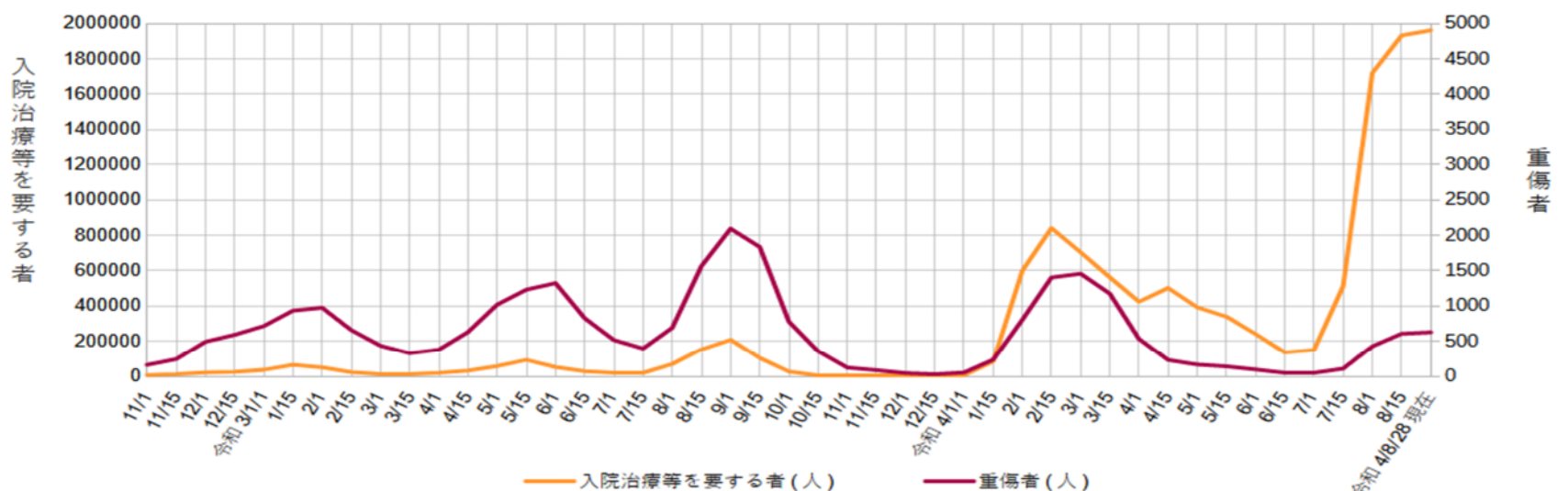
支援金：融資調達額の3.6% (180万円)

●肥料価格高騰対策事業 (7,900万円)

肥料輸入価格高騰により、市内産食材費高騰を防ぐ為、市内販売農業者(860人)へ肥料経費を支援します。

市の負担：R3年間肥料使用経費の10%

入院治療等を要する者・重症者数推移



(3) 市内在住者・訪問者消費喚起

●今年度予算の検証 市内観光バス活用(4.6 億円)

●飲食店や宿泊施設でクーポン券活用 (9 億円)

市内飲食店で利用できるクーポン券(1セット 500円×10枚綴)を、市内宿泊施設利用者に販売するとともに、市民の皆様へ抽選で無料配布をします。
 クーポン券内容：飲食代の半額分に利用可能
 (約 2,000 店舗で利用可能予定)
 販売・配布方法：
 ①市内宿泊施設利用者に 500 円で販売
 ②市民 10 万人に抽選で無料配布(9 月募集予定)

○市内観光バス活用促進とは…
 企業、町内会、学校等のイベントで使用の際、利用代金の半額を補助(市観光バス事業者)

今年度 4 月から 650 件の申請と 1000 台以上のバスが活用されました。永らく活動のなかった、地域団体・学校の修学旅行にも活用され

(4) 小松崎や会派が要望していた事項に対する主な対応

① 地球温暖化防止等地球環境保全対策の充実強化

(1)地球温暖化対策実行計画の推進

千葉市地球温暖化対策実行計画改定版において位置づけた各種施策を推進するとともに、千葉市気候危機行動宣言の趣旨に則り、市民・事業者・市が一体となって温暖化対策を推進する。

- ・気候危機行動キャンペーン 743 万円
- ・環境マネジメントシステム(C-EMS)の運用 66 万円
- ・地球温暖化対策地域協議会活動の促進 100 万円

(2) 再生可能エネルギー等導入の推進

再生可能エネルギーの導入を適切に進めていくため、引き続き太陽光発電設備など再生可能エネルギー等設備の助成を実施し導入促進を図るほか、ゼロ・エネルギー・ハウス及び電気自動車の購入費用の一部を助成する。

- ・再エネ・省エネ設備等設置費用助成 5865 万円
- ・ゼロ・エネルギー・ハウス導入費用助成 500 万円
- ・電気自動車等(EV・PHV)購入費用助成 400 万円
- ・充電設備(V2H)設置費用助成 400 万円
- ・中小企業向け省エネ設備導入助成 300 万円
- ・事業用太陽熱利用給湯又は蓄電システム設備費助成 100 万円



○児童相談所強化

職員体制強化で 100 人を超え 意思決定迅速化の為等に市内東(中央・緑・若葉区)西(花見川・美浜・稲毛区)2 地区体制に改編した。

○ヤングケアラー(若くして介護を担う方)支援

今後支援方針決定の為、職員研修等
 (埼玉県では条例も制定)

HP



2344.jp

小松崎ふみよし・プロフィール

*

事務所

昭和45年(1970)4月30日生まれ
 稲毛幼稚園卒園(現:評議員)
 千葉市立山王小・積橋中学校、
 千葉県立千葉北高等学校卒業
 (現:同窓会副会長)
 法政大学法学部法律学科卒業
 (現:校友会千葉中央支部常任幹事)

職歴
 衆議院議員うすい日出男秘書 10 年
 公設第一秘書、事務所責任者を歴任
 千葉市議会議員(稲毛区選出)4 期当選
 千葉市議会議長 関東市議会議長会監事
 現在
 千葉市社会福祉協議会山王地区部会長
 千葉市議会議員団長、自民党千葉市青年局長

37 地区自治会連顧問(山王中地区)
 千葉市少年軟式野球協会顧問
 千葉市アーチェリー協会会長
 県美容業組合千葉支部顧問
 千葉市早朝野球連盟副会長
 千葉市ソフトボール協会顧問
 千葉市総武リーグ顧問
 社会福祉法人愛の園評議員

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町 112-1
 電話:043-424-0001 FAX:043-421-6667
 E-mail: info@2344.jp HP URL: 2344.jp
 開設時間【水・金】13:30-16:00
 (感染症の影響で現在は休止しております、
 不在時は小松崎本人の携帯に転送)
 お問い合わせ・ご意見をお待ちしております。